

第3回東北ブロック下水道ビジョンが開催されました。

平成15年11月20日(木)仙台市内において、「第3回東北ブロック下水道ビジョン」が開催されました。これまで東北の下水道の現状と課題、目標像の説明を行ってきており、第3回においては、市町村長と一般住民に対して実施したP Iの結果報告とビジョン(案)の提案を行いました。

基本理念として、「東北の美しい自然環境を保存し、次世代へ引き継ぐためには、日々の生活で汚した水をきれいな水にして川や海へ戻す、人の活動によって排出される生ゴミ、下水汚泥などのバイオマスを活用し資源として大地へ還元するなど、人と自然環境を繋ぐ重要な役割を下水道が中心となり担っていく必要がある」とし、『実りをもたらすみちのくの水と大地を保全する下水道』をサブテ - マとして提案いたしました。

委員の皆様より、基本的な考え方やサブテ - マについては概ね良い、東北ブロックの目標像の優先順位を見直すべきではないかなどのご意見をいただきました。また、行政連絡会において課題となった下水汚泥のコンポスト利用拡大の困難性については不十分となりました。今後はビジョン(案)の修正などを行い、年度内策定を目指す予定です。

なお、第3回委員会の次第、議事録要旨は下記のとおりです。

第3回東北ブロック下水道ビジョン策定委員会 議事録要旨

日 時：平成15年11月20日(木) 14:00～16:00

場 所：仙台国際ホテル(平成 中 の間)

出席者：

委 員 阿部委員、江成委員、中村委員、野池委員長、森川委員、横山委員
行政連絡会 国土交通省：東北地方整備局 黒田建政部長、高橋都市調整官 他
東北6県・仙台市：下水道事業主管課長 他

次 第：

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議事
 - 1) 社会資本整備重点計画の概要
 - 2) 第2回委員会での意見とその対応
 - 3) P I 調査の結果報告
 - 4) 東北ブロック下水道ビジョン(案)
 - 5) その他

配布資料：

- 資料 - 1 社会資本整備重点計画概要資料
- 資料 - 2 第2回策定委員会議事要旨
- 資料 - 3 第2回策定委員会での意見とその対応
- 資料 - 4 第3回委員会 資料
- 資料 - 5 第3回委員会 参考資料
- 資料 - 6 下水道ビジョン報告書構成案

資料 - 7 説明資料

1. 主な意見等

社会資本整備重点計画概要について

- ・ 9つの事業分野別計画の一本化はいい方向だが、まだ国土交通省の中で一本化されたものという印象がする。将来的には省庁間の連携も目指して頂きたい。
- ・ 21世紀は、質の豊かさから脱却し、心の豊かさ、文化の豊かさ考えていく必要があると考える。中央省庁においても真の豊かさは何かという視点で考えて頂きたい。

東北ブロックにおける施設整備の考え方について

- ・ 同じ有機資源であるごみを下水中の有機物と合わせて収集することは効率的であり、既存下水道施設のままディスポ - ザ - を利用するのではなく、新たに下水道を整備する場合には、ごみ収集のメリット等も考慮し、総合的に評価した上でディスポ - ザ - の導入を検討してもよいのではないかと。
- ・ 初期投資が高いかもかもしれないが、消化ガスの有効利用により省エネ効果や、二酸化炭素を削減等の様々なメリットもあることから、検討すべきである。

PI調査の結果報告について

- ・ サンプルが60歳以上の世帯に偏っているが、60歳以下の世代の意見は、10年前と現在でどうなのか機会があれば実施して頂きたい。
- ・ 今回のPI調査のデ - タを生かす意味でも、全てではなくポイント毎のクロス集計を実施した方がよい。(クロス集計では、サンプル数が必要であり、統計的に意味の有無を検討する必要がある。ただ参考として示すことは可能である。)

東北ブロック下水道ビジョン(案)の目標像の優先順位について

- ・ 東北ブロックの目標像は、東北らしさを考えても「美しい東北の水環境・水循環の保全」が最優先すべきと考える。したがって、一番目に書くべきではないかと。
- ・ 目標像は「快適な暮らしの実現」が最優先であるべきである。
- ・ 「美しい東北の水環境・水循環の保全」が上位となることは、基本的には賛成であるが、事業目標の中で、極論すると水環境保全率が汚水処理人口普及率より上位の目標となるのではないかとということが危惧される。

(事務局)

- ・ 今回「快適な暮らしの実現」と「雪や災害に強いまちづくり」は基盤、「美しい東北の水環境・水循環の保全」と「環境への貢献」はビジョンの2つの柱、そして事業の進め方は「連携・協働の推進」といった提案を行っており、各委員の思いと同じと受け止めている。書きぶり等の表現については、工夫して次回に示したい。

整備指標について

- ・ 整備指標のうち、水環境保全率については、後ほど資料を用意する。

東北ブロック下水道ビジョン(案)中の表現の仕方等について

- ・ 「利用」、「活用」等の異なる表現の使い方を精査すべきである。
- ・ 基本理念の中で代表的 として十和田湖や松島だけを記載しているが、他県にもあ

るので「等」を入れてほしい。

東北ブロック下水道ビジョン（案）のサブタイトルについて

- ・ サブタイトルの初めに、「豊かな心と」という表現を加えてほしい。

2．次回委員会について

- ・ 次回委員会は、2月下旬の予定である。

以上